

6 教育職員免許状の取得

第1 教育職員免許状を取得するための課程

人文学部において、教育職員免許状を取得するためには、所定の履修方法に基づいて単位を修得していくとともに、各段階の履修指導等を受けなければならない。

なお、履修指導等については、61～69ページの教育職員免許状取得までのスケジュールのとおり実施する予定である。オリエンテーション及び説明会の日程及び詳細をはじめ、教育職員免許状の取得に関する連絡事項については、掲示により通知する。

第2 取得可能な教育職員免許状の種類等

人文学部において、教育職員免許法施行規則に定める科目に相当する山口大学における相当授業科目の単位を修得し、学士の学位を有する者については、次の教育職員免許状を取得することができる。

免許状の種類	免許教科	基礎資格	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目・単位数	専門科目の最低単位数		
				教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目 ※
中学校一種免許状	国語	学士の学位を有すること	8	27	28	4
	社会					
高等学校一種免許状	外国語(英語)					
	国語			23	24	12
	地理歴史					
公民						
	外国語(英語)					

※ 「大学が独自に設定する科目(中学校4単位、高等学校12単位)」については、人文学部においては、「教諭の教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低合計修得単位数(中学校55単位、高等学校47単位)を超えて修得した単位数をあてる。

第3 教育職員免許状取得のために修得すべき授業科目及び単位数等

(1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(共通教育科目)

教育職員免許状を取得するためには、次の共通教育科目を履修し、10単位をすべて修得しなければならない。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	法令上の単位数	左記に該当する共通教育科目	修得する単位数
日本国憲法	2単位	日本国憲法	2単位
体育	2単位	運動健康科学	1単位
		スポーツ運動実習	1単位
外国語コミュニケーション	2単位	英語会話Ⅰa, 英語会話Ⅱa	1単位
		英語会話Ⅰb, 英語会話Ⅱb	1単位
情報機器の操作	2単位	データ科学と社会Ⅰ	1単位
		データ科学と社会Ⅱ	1単位

(2) 教諭の教育の基礎的理解に関する科目等(進級及び卒業に必要な単位数に含めない。)

教諭の教育の基礎的理解に関する科目等に係る開講科目については、32ページの別表1のとおり定めるものとする。

(3) 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許状を取得するためには、教育職員免許状の種類及び教科によって、33～39ページの別表2～6のとおり定められた人文学部又は教育学部が開講する専門授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(4) 教育実習を行うための条件

教育実習を行うためには、次の①～③の事項をすべて満たさなければならない。

① 教育実習を行う前年度に実施される教育実習内諾説明会に出席するとともに、実習予定校から内諾を得ておくこと

② 教育実習の開始までに、次の人文学部又は教育学部が開講する専門科目から合計22単位以上を修得していること

※ 原則として、中学校の教育職員免許状の取得を希望する者にあつては、2年次終了までに、高等学校の教育職員免許状のみを希望する者にあつては、3年次終了までに、所定の単位数を修得していること

免許法上の科目区分	人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	開講年次	最低必要単位数	
				中学校	高等学校
教科及び教科の指導法に関する科目	教科の専門的事項に関する科目		1年次～	10	10
	教科の指導法		2年次～	2	2
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論A	2	1年次	2	2
	教職概論A	2	1年次	2	2
	教育法規A	2	2年次	2	2
	教育場面の心理学A	1	2年次		
	特別支援教育A	1	2年次		
	教育課程論(カリキュラム・マネジメントを含む。)A	2	1年次	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育A	2	3年次	2	2
	総合的な学習の時間指導法A	1	3年次		
	特別活動A	1	2年次		
	教育方法学(情報機器及び教材を含む。)	2	2年次		
	生徒指導概論A	2	2年次		
	教育相談・進路指導A	2	3年次		
合計必要修得単位数				22	22

③ 教育実習を行う前に、事前指導(プレ実習)を受講していること

【別表1】教諭の教育の基礎的理解に関する科目等

免許法上の科目区分		法令上の単位		左記に該当する教育学部が開講する専門科目	単位数	必修科目		開講年次
		中一免	高一免			中一免	高一免	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原論A	2	◎	◎	1年次
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論A	2	◎	◎	1年次
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育法規A	2	◎	◎	2年次
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育場面の心理学A	1	◎	◎	2年次
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育A	1	◎	◎	2年次
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論(カリキュラム・マネジメントを含む。)A	2	◎	◎	1年次
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育A	2	◎		3年次
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間指導法A	1	◎	◎	3年次
	特別活動の指導法			特別活動A	1	◎	◎	2年次
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育方法学(情報機器及び教材を含む。)	2	◎	◎	2年次
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導概論A	2	◎	◎	2年次
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談・進路指導A	2	◎	◎	3年次
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	事前・事後指導	1	◎	◎	3年次 4年次
				教育実習(中)	4	◎		
				教育実習(高)	2		◎	
	教職実践演習	2	2	教育実践演習(中・高)	2	◎	◎	4年次
合計		27	23	合計必要修得単位数		27	23	

(備考)

- ◎については、必修科目であることを示す。
- 教育実習にあっては、中学校の教育職員免許状及び高等学校の教育職員免許状の両方を取得する者は、中学校の場合と同様に4単位修得しなければならない。

【別表2】「中学校教諭教育職員一種免許状(国語)」及び「高等学校教諭教育職員一種免許状(国語)」
 を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法上の科目区分		人文学部又は教育学部が 開講する専門科目	単位数	必要修得単位		備考
				中学校	高等学校	
教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	国語学(音声言語及び文 章表現に関するものを含 む。)	日本語学概説(古代語)	2	◎	◎	
		日本語学概説(現代語)	2	◎	◎	
		日本語史	2	◎	◎	
		日本語学特殊講義(古代語)	2			
		日本語学特殊講義(現代語)	2			
		日本語学基礎講読(古代語)	2			
		日本語学発展講読(古代語)	2			
		日本語学基礎講読(現代語)	2			
		日本語学発展講読(現代語)	2			
国文学(国文学史を含 む。)	日本文学史(中古)	2	◎	◎		
	日本文学史(近世)	2	◎	◎		
	日本文学史(近代)	2	◎	◎		
	日本文学特殊講義(中古)	2				
	日本文学特殊講義(近世)	2				
	日本文学特殊講義(近代)	2				
	日本文学特殊講義(近現代)	2				
	日本文学基礎講読(中古)	2				
	日本文学発展講読(中古)	2				
	日本文学基礎講読(近世)	2				
	日本文学発展講読(近世)	2				
	日本文学基礎講読(近代)	2				
	日本文学発展講読(近代)	2				
	日本文学基礎講読(近現代)	2				
日本文学発展講読(近現代)	2					
漢文学	中国文学史	2	◎	◎		
書道(書写を中心とす る。)	書道Ⅰ	2	◎	×		
	書道Ⅱ	2	◎	×		
各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	2	◎	◎	2年次	
	国語科教育法Ⅱ	2	◎		3年次	
	国語科教育法Ⅲ	2	◎	◎	3年次	
	国語科教育法Ⅳ	2	◎		3年次	
合計必要修得単位数				32単位	36単位	

(備考)

- ◎については、必修科目であることを示す。
- ◎を付した授業科目を含めて、中学校の教育職員免許状を取得するためには32単位以上、高等学校の教育職員免許状を取得するためには36単位以上修得しなければならない。
- ×については、高等学校の教育職員免許状の取得のために必要な単位数に算入できない。

【別表3】「中学校教諭教育職員一種免許状(社会)」を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法上の科目区分		人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	必要修得単位	備考
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概説(古代・中世)	2	◎	
		日本史概説(近世・近現代)	2	◎	
		日本史入門(古代)	2		
		日本史入門(中世)	2		
		日本史入門(近世)	2		
		日本史入門(近現代)	2		
		東洋史概説	2	◎	
		東洋史入門(近世・近代)	2		
		西洋史概説	2	◎	
		西洋史入門(古代・中世)	2		
		西洋史入門(近世・近代)	2		
		考古学概説	2		
		考古学入門(先史)	2		
		日本史特殊講義(古代)	2		
		日本史特殊講義(中世)	2		
		日本史特殊講義(近世)	2		
		日本史特殊講義(近現代)	2		
		東洋史特殊講義(近世・近代)	2		
		西洋史特殊講義(古代・中世)	2		
		西洋史特殊講義(近世・近代)	2		
		考古学特殊講義(先史)	2		
		日本史史料基礎講読(古代)	2		
		日本史史料発展講読(古代)	2		
		日本史史料基礎講読(中世)	2		
		日本史史料発展講読(中世)	2		
		日本史史料基礎講読(近世)	2		
		日本史史料発展講読(近世)	2		
		日本史史料基礎講読(近現代)	2		
		日本史史料発展講読(近現代)	2		
		東洋史史料基礎講読(古代・中世)	2		
		東洋史史料基礎講読(近世・近代)	2		
		東洋史史料発展講読(近世・近代)	2		
		西洋史史料基礎講読(古代・中世)	2		
西洋史史料発展講読(古代・中世)	2				
西洋史史料基礎講読(近世・近代)	2				
西洋史史料発展講読(近世・近代)	2				
考古学実習(遺物調査)	4				
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学	2	◎	
		自然地理学	2	◎	
		地誌	2	◎	

免許法上の科目区分	人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	必要修得単位	備考
「法律学, 政治学」	法 学 概 論	2	◎	
「社会学, 経済学」	現代社会学概論(基礎理論)	2	◎	
	現代社会学概論(社会調査)	2		
	社会心理学概論	2	◎	
	課題の発見と検証	2		
	量的調査データ解析法入門	2		
	量的調査データ解析法基礎	2		
	質的調査データ解析法	2		
	現代社会学特殊講義(地域福祉)	2		
	現代社会学特殊講義(コミュニティと災害)	2		
	社会心理学特殊講義(社会問題)	2		
	社会心理学特殊講義(コミュニケーション)	2		
	民俗学・文化人類学特殊講義(生活文化)	2		
	現代社会学調査実習(企画と実施)	2		
	現代社会学調査実習(分析と報告)	2		
	社会心理学調査実習(企画と実施)	2		
	社会心理学調査実習(分析と報告)	2		
	民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施)	2		
民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告)	2			
「哲学, 倫理学, 宗教学」	哲 学 概 論	2	◎	
	西洋哲学概論(哲学)	2		
	西洋哲学概論(倫理学)	2		
	東洋思想史概論(日本古代中世)	2		
	東洋思想史概論(日本近世)	2		
	宗 教 学 概 論	2		
	西洋哲学特殊講義(哲学)	2		
	西洋哲学特殊講義(倫理学)	2		
	東洋思想史特殊講義(日本古代中世)	2		
	東洋思想史特殊講義(日本近世)	2		
	宗 教 学 特 殊 講 義	2		
	西洋哲学講読(哲学)	2		
	西洋哲学講読(倫理学)	2		
	東洋思想史講読(日本古代中世)	2		
	東洋思想史講読(日本近世)	2		
	宗 教 学 講 読 (現 代 日 本)	2		
	宗 教 学 講 読 (世 界 の 宗 教)	2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等地理歴史教育論Ⅰ	2	◎	2年次
	中等地理歴史教育論Ⅱ	2	◎	3年次
	中等公民教育論Ⅰ	2	◎	2年次
	中等公民教育論Ⅱ	2	◎	3年次
合 計 必 要 修 得 単 位 数			32単位	

(備考)

- ◎については、必修科目であることを示す。
- ◎を付した授業科目を含めて、32単位以上修得しなければならない。

【別表4】「高等学校教諭教育職員一種免許状(地理歴史)」を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法上の科目区分		人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	必要修得単位	備考
教科に関する専門的事項	日本史	日本史概説(古代・中世)	2	◎	
		日本史概説(近世・近現代)	2	◎	
		日本史入門(古代)	2		
		日本史入門(中世)	2		
		日本史入門(近世)	2		
		日本史入門(近現代)	2		
		考古学概説	2		
		考古学入門(先史)	2		
		日本史特殊講義(古代)	2		
		日本史特殊講義(中世)	2		
		日本史特殊講義(近世)	2		
		日本史特殊講義(近現代)	2		
		考古学特殊講義(先史)	2		
		日本史史料基礎講読(古代)	2		
		日本史史料発展講読(古代)	2		
		日本史史料基礎講読(中世)	2		
		日本史史料発展講読(中世)	2		
		日本史史料基礎講読(近世)	2		
		日本史史料発展講読(近世)	2		
		日本史史料基礎講読(近現代)	2		
日本史史料発展講読(近現代)	2				
考古学実習(遺物調査)	4				
外国史		東洋史概説	2	◎	
		東洋史入門(近世・近代)	2		
		西洋史概説	2	◎	
		西洋史入門(古代・中世)	2		
		西洋史入門(近世・近代)	2		
		東洋史特殊講義(近世・近代)	2		
		西洋史特殊講義(古代・中世)	2		
		西洋史特殊講義(近世・近代)	2		
		東洋史史料基礎講読(古代・中世)	2		
		東洋史史料基礎講読(近世・近代)	2		
		東洋史史料発展講読(近世・近代)	2		
		西洋史史料基礎講読(古代・中世)	2		
		西洋史史料発展講読(古代・中世)	2		
		西洋史史料基礎講読(近世・近代)	2		
		西洋史史料発展講読(近世・近代)	2		

免許法上の科目区分	人文学部又は教育学部が 開講する専門科目	単位数	必要修得単位	備考
人文地理学・自然地理学	人文地理学	2	◎	
	自然地理学	2	◎	
地誌	地誌	2	◎	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中等地理歴史教育論Ⅰ	2	◎	2年次
	中等地理歴史教育論Ⅱ	2	◎	3年次
合計必要修得単位数			36単位	

(備考)

- 1 ◎については、必修科目であることを示す。
- 2 ◎を付した授業科目を含めて、36単位以上修得しなければならない。

【別表5】「高等学校教諭教育職員一種免許状(公民)」を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法上の科目区分	人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	必要修得単位	備考		
教科	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	法 学 概 論	2	◎		
		現代法(国際法を含む。)	2	◎		
関する専門的事項	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	現代社会学概論(基礎理論)	2	◎		
		現代社会学概論(社会調査)	2			
		社会心理学概論	2	◎		
		課題の発見と検証	2			
		量的調査データ解析法入門	2			
		量的調査データ解析法基礎	2			
		質的調査データ解析法	2			
		現代社会学特殊講義(地域福祉)	2			
		現代社会学特殊講義(コミュニティと災害)	2			
		社会心理学特殊講義(社会問題)	2			
		社会心理学特殊講義(コミュニケーション)	2			
		民俗学・文化人類学特殊講義(生活文化)	2			
		現代社会学調査実習(企画と実施)	2			
		現代社会学調査実習(分析と報告)	2			
		社会心理学調査実習(企画と実施)	2			
		社会心理学調査実習(分析と報告)	2			
		民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施)	2			
		民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告)	2			
		「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲 学 概 論	2		◎
西洋哲学概論(哲学)	2					
西洋哲学概論(倫理学)	2					
東洋思想史概論(日本古代中世)	2					
東洋思想史概論(日本近世)	2					
宗 教 学 概 論	2					
西洋哲学特殊講義(哲学)	2					
西洋哲学特殊講義(倫理学)	2					
東洋思想史特殊講義(日本古代中世)	2					
東洋思想史特殊講義(日本近世)	2					
宗 教 学 特 殊 講 義	2					
西洋哲学講読(哲学)	2					
西洋哲学講読(倫理学)	2					
東洋思想史講読(日本古代中世)	2					
東洋思想史講読(日本近世)	2					
宗 教 学 講 読 (現 代 日 本)	2					
宗 教 学 講 読 (世 界 の 宗 教)	2					
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	中 等 公 民 教 育 論 I		2	◎	2年次	
	中 等 公 民 教 育 論 II		2	◎	3年次	
合 計 必 要 修 得 単 位 数			36単位			

(備考)

- ◎については、必修科目であることを示す。
- ◎を付した授業科目を含めて、36単位以上修得しなければならない。

【別表6】「中学校教諭教育職員一種免許状(外国語(英語))」及び「高等学校教諭教育職員一種免許状(外国語(英語))」を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法上の科目区分		人文学部又は教育学部が開講する専門科目	単位数	必要修得単位		備考
				中学校	高等学校	
教科に関する専門的事項	英語学	英語学概説(文法と意味)	2	◎	◎	
		英語学概説(形態と音声)	2	◎	◎	
		英語史	2	◎	◎	
		英語学特殊講義(統語論)	2			
		英語学特殊講義(形態・音韻論)	2			
		英語学特殊講義(意味論)	2			
		英語学講読(統語論)	2			
		英語学講読(形態・音韻論)	2			
		英語学講読(意味論)	2			
		英語学演習(統語論)	2			
		英語学演習(形態・音韻論)	2			
		英語学演習(意味論)	2			
	英語文学	英米文学史(イギリス)	2	◎	◎	
		英米文学史(アメリカ)	2	◎	◎	
		英文学特殊講義(イギリス)	2			
		英文学特殊講義(アメリカ)	2			
		英文学講読(イギリス)	2			
		英文学講読(アメリカ)	2			
		英文学演習(イギリス)	2			
		英文学演習(アメリカ)	2			
	英語コミュニケーション	英会話Ⅰ	2	○	○	
		英会話Ⅱ	2	○	○	
		英作文	2	◎	◎	
		時事英語	2	◎	◎	
	異文化理解	英米事情	2	◎	◎	
		比較文化概説	2	◎	◎	
		比較文化特殊講義	2			
		比較文化講読	2			
		比較文化演習	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育概論	2	◎	◎	2年次	
	実践英語科教育法	2	◎	◎	3年次	
	英語科教育法Ⅰ	2	◎		3年次	
	英語科教育法Ⅱ	2	◎		3年次	
	英語科教育法Ⅲ	2			4年次	
合計必要修得単位数				32単位	36単位	

(備考)

- ◎については、必修科目であることを示す。
- については、選択必修科目であることを示し、1科目2単位以上を修得しなければならない。
- ◎及び○の付した授業科目を含めて、中学校の教育職員免許状を取得するためには32単位以上、高等学校の教育職員免許状を取得するためには36単位以上を修得しなければならない。
- 『実践英語科教育法』については、『英語科教育概論』を履修後に、『英語科教育法Ⅰ』については、『実践英語科教育法』を履修後又は同時に履修することが望ましい。